

福祉文教常任委員会協議会 説明資料

令和5年4月24日

大磯町学校教育施設整備基本構想の策定について

資 料

大磯町学校教育施設整備基本構想の策定について 資料1

学校教育課

大磯町学校教育施設整備基本構想の策定について

1. 学校教育施設整備基本構想策定に至る経過

○本町の現状

本町が所有する公共建築物の延床面積の約半数を学校教育施設が占めており、そのうち約4割が築40年を経過していることから、老朽化に伴う施設改修の必要性や、建築部材・設備機器の経年劣化が安全面や機能面で不具合を引き起こすことに懸念がある。

こうした状況を踏まえ、文部科学省の求めにより、令和3年3月に『大磯町教育施設等長寿命化計画（学校教育施設）』を策定し、本町の学校教育施設の目指すべき姿と今後の整備の基本的な方針を示した。

○長寿命化計画策定後に生じた課題

文部科学省は、少子化に対応した学校づくりや他の公共施設との複合化・共用化等の「さらなる改善」策の検討に加え、教育環境向上と老朽化対策の一体的整備やバリアフリー化、脱炭素化、ZEB化等の学校教育施設を取り巻く様々な課題に対応した整備・管理やコストの最適化を図るなどを計画的・効率的に取り組む際は、教育委員会のみで対応するのではなく、首長部局との間で横断的な検討体制を構築し、長寿命化計画の見直しや充実に努めることも求めている。

2. 学校教育施設整備基本構想策定の目的

令和5年3月に大磯町教育大綱が改定となり、基本理念には「子育て・教育でみんながわくわくするまち おおいそ」が掲げられた。

教育委員会では、「教育で人の集まるまちづくり」を進めていく方針として、大磯ならではの教育とは何か、求められる教育を『わくわくプラン』としてまとめていく考えにある。その過程の中で、中学校給食施設等、求められる「学校教育施設の在り方」を検討し、大磯町立の小中学校4校の整備内容及び時期を具体的に決定していくため、『大磯町学校教育施設整備基本構想（以下「基本構想」という。）』を策定する。

3. 基本構想の位置付け、関連計画との整合

本基本構想は、本町の最上位計画である総合計画をはじめ、大磯町公共施設再編基本方針（H28年5月策定）、大磯町公共施設等総合管理計画（H29年3月策定・R4年7月改訂）、大磯町公共施設等個別施設計画（H30年3月策定・R4年7月改訂）との整合を図ると共に、大磯町教育施設等長寿命化計画（R3年6月策定）において定めた改修等の優先順位（※1）に基づき、策定する。

また、関連する地域防災計画や環境基本計画、地球温暖化対策実行計画、まちづくり基本計画やその他計画との整合を図る。

(※1) 改修等の優先順位

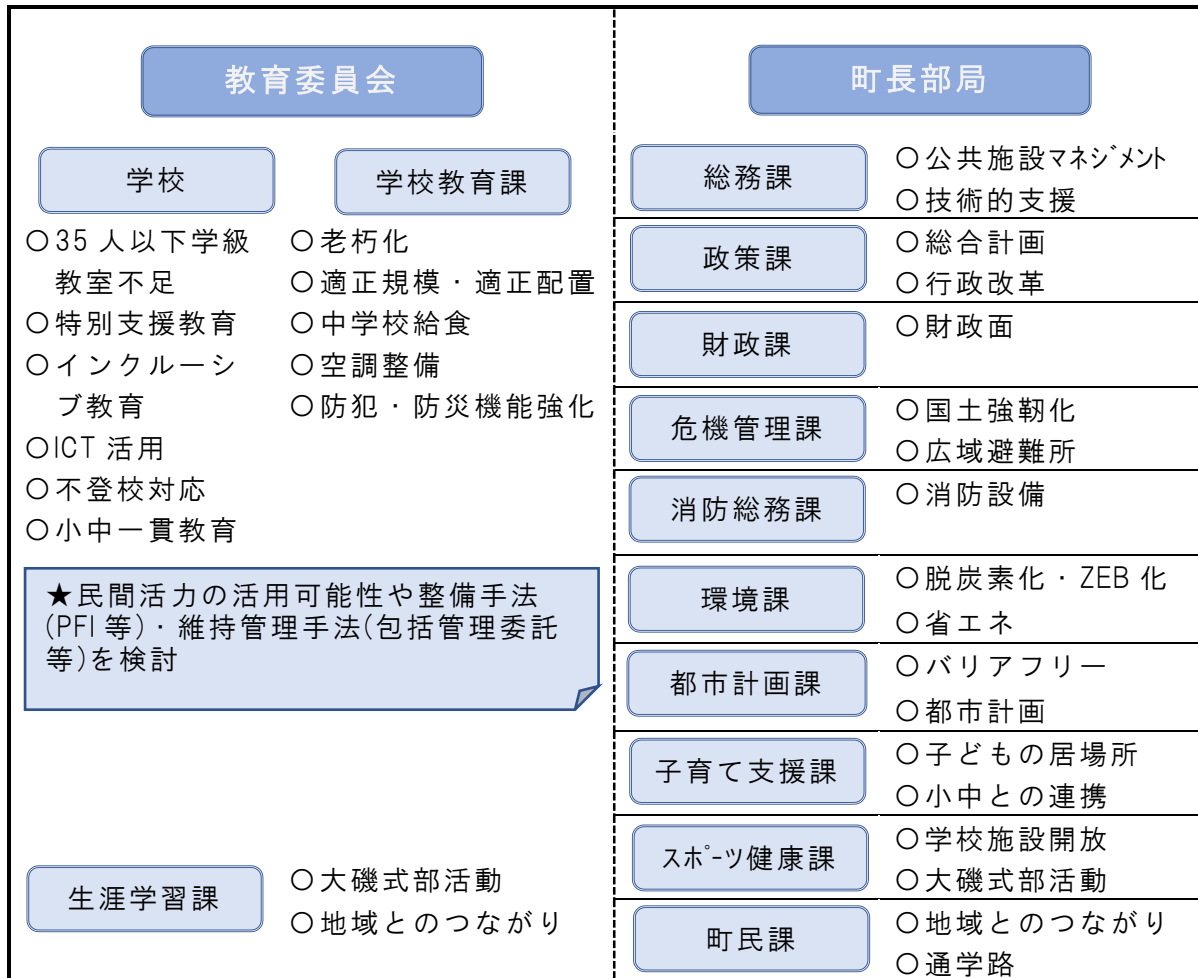
順位	優先順位の判定基準	
1	構造躯体の健全性を確保	構造躯体の評価において「要調査」と判定された施設の対策を優先する。
2	長寿命化を図る上で重要な部位の予防的な改修工事	安全性を確保するため、「屋根・屋上」「外壁」の評価がC、D判定の施設を優先する。
3	利用者へ与える影響が大きい部位の改修工事	故障や事故等の発生により、利用者へ与える影響が大きい「電気設備」「機械設備」の評価がC判定の施設を優先する。
4	非常時における役割	広域避難場所、指定緊急避難場所及び指定避難所に指定されている施設を優先する。
5	「存続」する施設	個別施設計画における対策(方向性)が「存続」である施設を優先する。

出典：大磯町教育施設等長寿命化計画（令和3年6月）P47

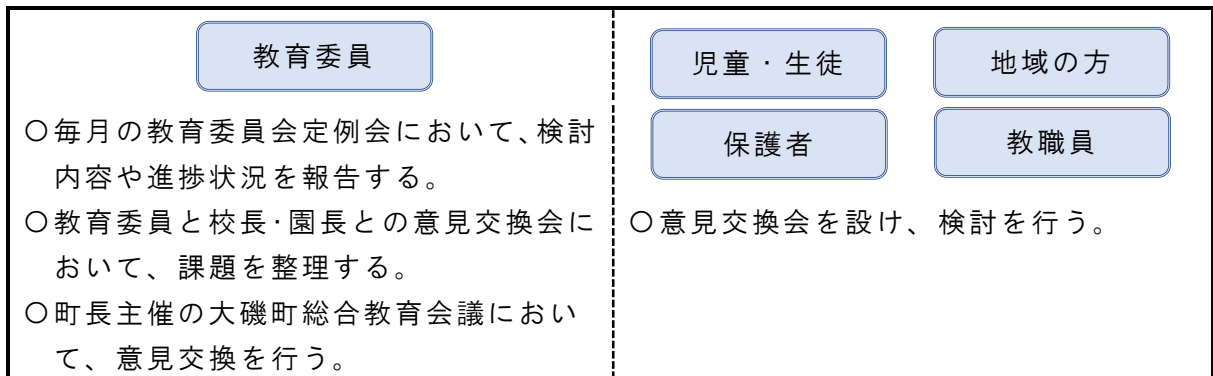
4. 基本構想の検討体制

学校教育施設を取り巻く様々な課題を検討するため、庁内での部局横断的な検討体制を構築すると共に、実際に学校教育施設を利用する児童・生徒や教職員、保護者や地域の方のご意見を伺い、教育環境の向上と同時に将来コストの最適化を実現していく。

【庁内での部局横断的な検討体制イメージ】




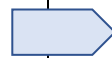



【庁外での意見聴取・検討体制イメージ】



5. 基本構想策定スケジュール

令和5年10月31日までとする。

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
1	学校教育施設整備の現状と課題の整理を行う。							
2	庁内外での意見聴取を行い、求められる「学校教育施設の在り方」を検討する。							
3	大磯町立の小中学校4校の整備内容及び時期を具体化する。議会・関係機関へ説明する。							
4	おおよそ前期10年、後期10年の期間を想定した学校教育施設の整備におけるロードマップの作成を行う。							
5	基本構想を策定し、公表する。 町ホームページに掲載の他、情報コーナー及び町議会図書室へ配架等を行う予定。							

6. 基本構想策定後の対応（想定）

- 大磯町総合計画実施計画事業調書
- 令和6年度予算編成

対象施設

No	施設名	建物名	建築年		階数 ※	構造	延床面積 (㎡)	備考
			西暦	和暦				
1	大磯 小学校	本館	2000	H12	3	R C 造	2,434	
		南校舎	1999	H11	3	R C 造	2,100	
		中校舎	1985	S 60	3	R C 造	2,148	
		西校舎	1986	S 61	3	R C 造	510	
		ホール前室	2000	H12	3	S 造	133	
		給食調理室	1987	S 62	1	R C 造	312	
		体育館	1975	S 50	2 (1)	R C 造	1,493	
		外トイレ・倉庫	2000	H12	1	R C 造	16	
2	国府 小学校	南校舎	1991	H3	3	R C 造	2,989	
		北校舎	1992	H4	3	R C 造	3,579	
		昇降口	1992	H4	3	R C 造	714	
		体育館	1997	H9	2	R C 造	1,794	
		プール	2012	H24	1	R C 造	244	管理棟
3	大磯 中学校	1号館	1960	S 35	3	R C 造	1,062	
		2号館	1965	S 40	3	R C 造	1,512	
		3号館	1983	S 58	3	R C 造	3,180	
		昇降口	1965	S 40	2	R C 造	131	
		体育館	1965	S 40	1 (1)	S 造	1,191	
		部室棟	1996	H8	1	R C 造	305	
4	国府 中学校	A棟	1980	S 55	3	R C 造	3,201	
		B棟	1980	S 55	3	R C 造	2,009	
		体育館	1982	S 57	2	R C 造	1,525	
		部室棟	1995	H7	1	S 造	109	

※ () は地下の階数